森林とふれあい・まなび・つくる
～「てしお森遊会」の活動～

留萌北部森林管理署
渡邊　博司

１．課題を取り上げた背景

「てしお森遊会」は、平成 14 年 6 月に会を発足させてから 10 年が経ちました。

当署と平成 14 年 8 月に、ふれあいの森における森林整備等の活動に関し協定を締結し、「てしお森遊ふれあいの森」を設定して、植樹・下刈等の森林整備を毎年実施しています。

また、平成 16 年 8 月には、留萌開発建設部と「一般国道 40 号天塩雄信内防雪林の植栽管理に関する協定」を締結し、防雪林の植樹を毎年実施しています。

２．取組みの経過

木々や花々があふれる豊かな町づくりを進める天塩町には、町を取り囲むように様々な公園が整備されています。

このような自然環境に恵まれた中で、地球温暖化など地球環境の悪化は深刻な問題として受け止めており、「もっと自然を大切にできないか？自然と共存していくために何ができるのか？」と常々考えていました。

当署の“森林との遊びの中から「ふれあい・まなび・つくる」をしてみませんか”というフレーズの新聞折り込みを目にして活動に参加するようになりました。

平成 14 年 6 月に「てしお森遊会」を立ち上げ、8 月に森林整備協定を締結し、181 林班な小班に面積 0.28ha の「てしお森遊ふれあいの森」を設定しました。

この間、会員相互の親睦を図りながら、グイマツＦ$_1$、アカエゾマツ、ミズナラ等を植栽し、これまでに 2 千本以上の木を植樹し、下刈・枝打ち等の森林整備を実施しています。

また、平成 16 年 8 月に、留萌開発建設部と「一般国道 40 号天塩町雄信内防雪林の植栽管理に関する協定」を締結し「天塩おのっぷの森」を設定し、アカエゾマツを中心に毎年植樹（補植含む）を実施しています。

平成 17 年度から、天塩小学校が実施している未立木地の防風保安林の造成「北のしじみの森林づくり」にチャレンジしている天塩小学校の児童の手伝いを実施しています。

また、てしお森遊会は昨年から北海道庁で実施している「みどりの環境改善支援事業（グリーンコーディネーター派遣）による講演会も開催しており、地球温暖化防止等についても勉強しています。

３．実行結果

キャッチフレーズである“森林とふれあい・まなび・つくる”をモットーに、会員間の親睦を図りながら、地域における森林整備にも取組み、着々と成果を上げています。

てしお森遊会が結成されてから 10 年という節目の年に、これまでの地域における森林整備等の活動が認められて、平成 24 年 3 月に北海道森林管理局長より「国民の森林づくり」に対して、感謝状が授与されました。

４．考　　察

てしお森遊会の会員相互の親睦を始め、活動に参加することにより、天塩町の森林づくりに貢献出来ているという実感と、地球環境にとって森林が大切な役割を果たしていることが理解できました。

また、自然環境に恵まれた地域に住んでいる私たちは、森林の持つ機能を一層理解することにより私達の生活と森林の結び付きを学び、森林を守り育てる重要さを、未来を担う子供達に伝えていきたいと考えています。

今後とも、植樹を始めとする森林整備の取組みの継続と、森林への理解や関心を一層深めていくよう努力をしていきたいと考えています。